

# 平成 21 年度(2009)の事業報告

## I. エアロビクの普及・振興に関する事業

### 1. 生涯エアロビク事業の推進

#### (1) 「第 22 回全国スポーツ・レクリエーション祭エアロビク大会」の開催

- ・生涯スポーツの祭典全国スポレク祭 2009 は宮崎県下で開催され、エアロビク大会は宮崎市のフェニックス・シーガイア・リゾート サンホテル国際会議場で 12 回目を開催した。  
また、日韓スポーツ交流事業として韓国からの参加もあった。なお、大会の様子は NHK BS-2 の番組として放送された。

【期 間】 10 月 17 日(土)～19 日(月)の 3 日間

【会 場】 宮崎市 フェニックス・シーガイア・リゾート サンホテル国際会議場

【参加者】 35 都道府県及び韓国を含む総勢 46 チーム 252 名  
(うち韓国は 3 チーム 15 名)

【放 送】 NHK BS-2 11 月 8 日(日)16:00～16:53

#### (2) 「エアロビク技能検定会」の開催

- ・日頃の教室やレッスンにおいて技術向上の目安やモチベーションを目的としたエアロビク技能検定会は、都道府県連盟および関係団体と協力して年間を通して実施した。
- ・なお、技能検定会の醸成をはかるため、会員誌スマイルで継続して合格者名を掲載していくこととした。

平成 22 年度エアロビク検定実績(人)

級	受検者	合格者	登録者
10	26	25	24
9	69	68	67
8	190	162	121
7	301	254	212
6	379	317	315
5	336	203	203
4	234	149	149
3	85	35	35
2	31	18	18
1	22	13	13
合 計	1,673	1,244	1,157

平成 22 年度ジュニア検定実績(人)

級	受検者	合格者	登録者
5	801	792	792
4	685	558	558
3	536	379	363
2	293	99	99
1	113	46	46
合計	2,428	1,874	1,858

通算受検者数 27,709 人

通算登録者数 19,097 人

(3)「アダプテッドエアロビック」の普及および協力

「第11回アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま2010」の共催

- ・障害者と健常者が一緒になってエアロビックを楽しむ「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま2010」を神奈川県エアロビック連盟と共催で行った。

【主催】 神奈川県エアロビック連盟(共催)  
【期 日】 2月11日(祝)、シンポジウム  
3月7日(日)、エアロビック大会  
【会 場】 横浜ラポール  
【参加者】 シンポジウム26名、エアロビック大会39チーム397名

(財)ナイスハート基金の催事協力と指導者派遣

- ・ナイスハート基金が主催する障害者と健常者がスポーツを通じて交流する「ふれあいのスポーツ広場」への協力と指導者派遣を次の通り行った。

群馬大会	5月30日(土)	太田市新田総合体育館・エアリス	参加者 403名
福岡大会	6月9日(火)	福岡市民体育館	参加者 180名
栃木大会	6月13日(土)	鹿沼市総合体育館フォレストアリーナ	参加者 443名
北海道大会	6月23日(火)	函館市総合福祉センター多目的ホール	参加者 280名
神奈川大会	6月27日(土)	秦野市総合体育館	参加者 467名
岡山大会	7月11日(土)	倉敷市水島緑地福田公園体育館	参加者 788名
愛知大会	10月24日(土)	名古屋市稲永スポーツセンター	参加者 357名
兵庫大会	11月4日(水)	姫路市中央体育館	順延
埼玉大会	11月7日(土)	川越運動公園総合体育館	参加者 927名
青森大会	11月9日(月)	新青森総合運動公園青い森アリーナ	参加者 297名
静岡大会	11月14日(土)	裾野市民体育館	順延
沖縄大会	2月17日(水)	うるま市具志川総合体育館	参加者 366名

(4)「きらきら Kids マナーエアロビック・第2回全国ビデオコンクール」の開催

- ・子どものココロとカラダの支援活動として、凸版印刷(株)の支援を得て「きらきら kids マナーエアロビック・第2回全国ビデオコンクール」を開催した。

【後 援】 文部科学省、(財)日本体育協会 他  
【期 間】 7月~10月  
【応募数】 66チーム(参加者2,678名)  
【表 彰】 グランプリ(最優秀賞)3部門3チーム、優秀賞3部門3チーム、  
入選3部門12チームを表彰

(5)糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントの協力

- ・日本イーライリリー社の社会貢献活動である糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントを下記の6会場で協力して行った。

横浜会場	10月4日	横浜ラポール メインアリーナ	参加者 300名
埼玉会場	10月12日	与野体育館	参加者 120名
福岡会場	11月15日	パピヨン21 ガスホール	参加者 110名
仙台会場	11月23日	サンフェスタ レセプションホール	参加者 110名
大阪会場	12月13日	尼崎市記念公園総合体育館	参加者 100名
名古屋会場	12月20日	愛知学院大学歯学部体育館	参加者 110名

(6)フェスティバル・地域催事後援、指導者派遣等

- ・都道府県連盟および関係団体等が主催するフェスティバル、各種イベントへの後援名義ならびに

講師の派遣を行った。

【名義後援】 都道府県連盟、設立準備委員会、関係団体等 17件  
【指導者派遣】 都道府県連盟イベント、NHK イベント等 6件

## 2. 競技エアロビック事業の推進

### (1) 「スズキワールドカップ 2009・第20回世界エアロビック選手権大会」の開催

・世界の競技エアロビックの頂点を競うスズキワールドカップは20回目の記念大会を迎え、国際エアロビック連盟(IAF)と共催して開催した。

【期 日】 予選4月18日(土)、決勝4月19日(日)  
【会 場】 東京体育館 メインアリーナ  
【参 加】 19ヶ国、138名  
【放 送】 NHK BS-1 4月25日(土)16:10~17:00

### (2) 「スズキジャパンカップ 2009・第26回全日本エアロビック選手権大会」の開催

・国内の競技エアロビックの頂点を競うスズキジャパンカップ・全日本エアロビック選手権大会は第26回大会を迎え、次の通り都道府県大会、地区大会、全国大会を開催した。

#### <都道府県大会>

・4月~7月の期間に全国都道府県等において各都道府県大会を実施した。

#### <地区大会>

東北地区大会	9月20日(日)	仙台市泉運動場総合体育館	出場者 100名
北海道地区大会	9月22日(祝)	きたえ~るメインアリーナ	出場者 78名
中部地区大会	9月26日(土)	中村スポーツセンター	出場者 174名
西日本地区大会	10月10日(土)	なみはやドームサブアリーナ	出場者 217名
九州地区大会	10月17日(土)	九電記念体育館	出場者 138名
東日本地区大会	10月31日(土)	東京体育館	出場者 214名

#### <全国大会>

【期 日】 11月1日(日)  
【会 場】 東京体育館  
【出場者】 188名 地区代表者数167名、前年度上位入賞シード15名、  
ジャパンサーキットツアー男女トップ3シード6名  
【放 送】 NHK 総合TV 11月7日(土)15:50~16:40

### (3) 「JOC ジュニアオリンピックカップ・全国エアロビック選手権大会 in 袋井 2010」の開催

・ユースの頂点を競う「JOC ジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会」は、静岡県袋井市と共催して第5回大会を開催した。

・本大会は総務省・文部科学省の「スポーツ拠点づくり推進事業」として開催していることから6回大会以降の運営等について、検討をすすめた。

#### <予選大会>

シングル、トリオ部門の予選を「スポーツエアロビック 2009」において行った。

チーム部門の予選を「SUZUKI PRESENTS JOC ジュニアオリンピックカップ・チーム部門予選」として、静岡エアロビック連盟の主管で行った。

【主 管】 静岡県エアロビック連盟  
【期 日】 12月26日(土)  
【会 場】 浜松市アクトシティ中ホール  
【参加者】 41チーム、297名

<全国大会>

【期 日】 1月23日(土)  
【会 場】 静岡スタジアム、エコパアリーナ  
【参加者】 317名

(4)「第9回全日本学生エアロビック選手権大会」の開催

- ・学生エアロビックの祭典として、学生エアロビック選手権大会実行委員会と共催して第9回大会を開催した。
- ・なお、本年度から高校の部を新設して、選手育成と競技会の拡大を図った。

【期 日】 11月29日(日)  
【会 場】 日本工学院八王子専門学校 体育館(東京都八王子市)  
【参加者】 大学(大学院)、短大、専門学校：27校、174名 高校：14校、22名

(5)「第5回全国フライト選手権大会」の開催

- ・「スポーツエアロビック 2009」と全日本学生選手権大会のフライト部門上位者による第5回全国フライト選手権大会を開催した。

【期 日】 12月13日(日)  
【会 場】 尼崎市記念公園総合体育館  
【参加者】 286名

(6)「スポーツエアロビック 2009」の開催

- ・エアロビックの総合的な大会として「スポーツエアロビック 2009」を全国7地区で開催した。また、各種全国大会の予選会も兼ねて行った。

第1戦：宮城オープン	5月3日(祝)	泉総合運動場体育館	参加者	298名
第2戦：北海道オープン	7月4日(土)	北翔大学第1体育館	参加者	372名
第3戦：静岡オープン	7月11日(土)	エコパアリーナ	参加者	430名
第4戦：神奈川オープン	9月5日(土)	横浜文化体育館	参加者	620名
第5戦：鳥取オープン	9月12日(土)	三朝町総合スポーツセンター	参加者	279名
第6戦：福岡オープン	11月14日(土)	九電記念体育館	参加者	393名
第7戦：兵庫オープン	12月12日(土)	尼崎市記念公園総合体育館	参加者	446名

【全国大会予選】

JOC ジュニアオリンピックカップ、シングル・トリオ部門予選  
全国フライト・エアロビック選手権大会予選  
全国フライト・エアロビック選手権大会予選

【チームチャレンジ】

- ・北海道オープンでは、生涯エアロビック普及の観点からチームチャレンジを実施、13チーム、117名が参加。

(7)「メトロポリタンカップ 2009」の開催

- ・首都圏のエアロビック普及を目的に「メトロポリタンカップ 2009」を開催した。なお、本年度より2日間の開催となった。

【期 日】 7月19日(日)、20日(祝)  
【会 場】 東京体育館サブアリーナ  
【参加者】 583名

## II. エアロビクの国際競技大会等に対する代表参加者の選定・派遣並びに外国からの役員等招聘

### 1. FIG ワールドシリーズ大会等への選手・審判員の派遣

- ・国際体操連盟(FIG)が主催する次のワールドシリーズ大会に選手・審判の派遣を行った。
  - 5月：ブルガリア(ソフィア)
  - 5月：フランス(シャンベリー)
  - 10月：ルーマニア(ティミソアラ)

### 2. 第8回ワールドゲームズ2009への選手・審判の派遣

- ・台湾高雄市で開催された第8回ワールドゲームズ2009に選手・審判の派遣を行った。  
【期間】7月16日～26日(11日間)

## III. エアロビクの講習会の開催及び指導者の育成

### 1. 公認エアロビク指導者養成事業の推進

#### (1) 公認スポーツ指導者に関する養成講習会の開催

- ・(財)日本体育協会と共催して行う公認スポーツ指導員(専門科目)養成講習会を次の通り開催した。

東京会場	前期	7月11日(土)～	7月12日(日)	江戸川区総合体育館	受講者 25名
	後期	8月22日(土)～	8月23日(日)		
栃木会場	前期	9月22日(土)～	9月23日(日)	鹿沼総合体育館	受講者 17名
	後期	11月22日(土)～	11月23日(日)		

#### (2) 専門科目の検定試験等の実施

- ・公認エアロビク指導員の検定試験を次の通り行った。

承認校における公認エアロビク指導員・教師専門科目(検定試験)

北海道会場	1月20日(水)	専門学校北海道体育大学校	受検者 16名
岩手会場	2月6日(土)	盛岡大学短期大学部	受検者 12名
富山会場		富山健康科学専門学校	受検者 1名
大阪会場		大阪社会体育専門学校	受検者 1名
東京会場	2月13日(土)	東京スポーツ・レクリエーション専門学校	受検者 9名
愛知会場		中京女子大学短期大学部	受検者 3名

( ) はビデオ審査による検定)

### 2. JAF 認定エアロビク指導者養成事業の推進

#### (1) 「JAF National Camp 2010」の開催

- ・指導者養成に関する各種講習会・研修会を集中的に行う「JAF National Camp 2010」を開催した。  
昨年に引き続き、(財)日本体育協会の助成を受けて、指導専門委員を対象に「公認スポーツ指導者競技別講師全国研修会」を兼ねて行った。

【期間】	2月23日(月)～28日(日)		
【会場】	国立オリンピック記念青少年総合センター		
【内容】	2月26日～27日	指導専門委員中央研修会	受講者 37名
	2月23日	TA中央研修会(プログラムA)	受講者 65名
	2月24日	TA中央研修会(プログラムB)	受講者 94名

2月27日～28日	TA新規養成講習会	受講者 23名
2月28日	審判員中央研修会	受講者 72名
2月25日～27日	審判員新規養成講習会	受講者 32名
2月23日	技能検定員中央研修会	受講者 43名
2月23日	ジュニア技能検定員中央研修会	受講者 27名
2月26日	ジュニア技能検定員新規養成講習会	受講者 5名
2月24日～25日	技能検定員移行講習会	受講者 14名
2月24日～26日	技能検定員新規養成講習会	受講者 7名
2月28日	JAFエアロビックセミナー	受講者 27名

(2) 「C級審判員養成講習会」の開催

山梨会場	5月29日(金)～31日(日)	山形県スポーツ会館	受講者 15名
------	-----------------	-----------	---------

(3) 「キッズ・ジュニアエアロビック指導員養成講習会」の開催

東京会場	6月20日(土)～6月21日(日)	有明スポーツセンター	受講者 20名
東京会場	9月16日(水)～17日(木)	日本工学院八王子専門学校	受講者 34名
山梨会場	9月26日(土)～9月27日(日)	山梨学院短期大学	受講生 23名

(4) 「テクニカル・アドバイザー(TA)養成講習会」の開催

大阪会場	8月22日(土)～23日(日)	大阪国際大学	受講者 10名
------	-----------------	--------	---------

(5) 「アクアエアロビック指導員(種)養成講習会」の開催

東京会場	9月2日(水)～3日(木)	日本工学院八王子専門学校	受講者 40名
山梨会場	10月3日(土)～4日(日)	山梨学院短期大学	受講者 21名

(6) 「ジュニア・エアロビック技能検定員養成講習会」の開催

鹿児島会場	11月22日(日)	南学園鹿児島医療福祉専門学校	受講者 12名
-------	-----------	----------------	---------

3. 指導者資格更新に関するセミナーの推進

(1) 「JAFエアロビックセミナー」の開催

・JAF認定ならびに公認指導者の資格更新を兼ねて行う、JAFエアロビックセミナーを開催した。

東京会場	7月11日(土)	江戸川区総合体育館	受講生 20名
富山会場	7月19日(日)	富山健康科学専門学校	受講生 18名
東京会場	11月23日(月)	清島温水プール	受講生 10名
静岡会場	12月5日(土)	袋井市山名公民館	受講生 27名
福島会場	12月12日(土)	いわき市立学習プラザ	受講生 15名
東京会場	2月28日(土)	代々木オリンピックセンター	受講生 27名
秋田会場	3月14日(土)	秋田県立総合プール	受講生 5名
長野会場	3月21日(土)	スポーツネットワークサム	受講生 25名
北海道会場	3月22日(日)	札幌中島体育センター	受講生 12名

(は県連盟が主管して実施)

(2) 「審判員資格更新セミナー」の開催

大阪会場	4月4日(土)	大阪国際大学	受講者 16名
------	---------	--------	---------

(3) 「新ルール説明会」の開催

大阪会場	4月4日(土)	大阪国際大学	受講者 46名
------	---------	--------	---------

## ・競技力向上に関する事業の推進

### 1. 「スーパーキャンプ」の開催

- ・競技力の底辺拡大と強化を目的とした競技エアロビックの「スーパーキャンプ」を全国4地区で開催した。本年度より、競技間交流として(財)日本体操協会に講師派遣を依頼して行った。

大阪会場	11月22日(土)	土佐堀Y M C A	参加者 105名
東京会場	2月23日(火)～28日(月)	国立オリンピックセンター	参加者 165名
仙台会場	3月26日(金)～27日(土)	仙台市泉総合運動場体育館	参加者 111名
福岡会場	3月13日(土)～14日(日)	福岡大学	受講者 133名

### 2. 「チームジャパン合宿」の開催

- ・スズキワールドカップ2010の出場選手が参加して「チームジャパン合宿」を行った。

【期間】	2月19日(金)～22日(月)
【会場】	国立オリンピック記念青少年総合センター
【参加者】	24名(一般11名、ユース13名、コーチ2名)

## ・エアロビックの審判員の養成及びその資格の認定

### 1. 国際審判員養成講習会の開催

- ・国際体操連盟(FIG)の国際審判員養成講習会を行った。

【期間】	6月22日(月)～26日(金)
【会場】	NHK 青山荘(東京)
【受講者】	29名

## ・各種関連団体との協調と連携

### 1. 競技力向上に関する研究(継続研究)

- ・サマーキャンプ、チームジャパン合宿等を通じて選手強化に関する研究をすすめた。

### 2. 生涯エアロビックに関する研究(継続研究)

- ・キッズジュニア指導員養成講習会・研修会等を通じて指導法に関する継続的に研究をすすめた。

### 3. アダプテッド・エアロビックに関する研究(継続研究)

- ・神奈川県エアロビック連盟の事業委託、ナイスハート基金「ふれあいスポーツ広場」への指導者派遣等を通じて継続的な研究をすすめた。

### 4. エアロビック・フィットネス協議会(AFC)との連携

- ・エアロビック・フィットネス界の発展を目的として2000年に設立。  
2009年度も(社)日本フィットネス協会、アフア・ジャパンの主要団体と協力連携して次の事業を行った。

機関紙「AFC PRESS」の年4回の発行と編集協力  
AFC設立10周年記念企画として「感動ストーリー」を募集

## ・広報活動の推進

### 1. NHK 定時番組等の制作協力

定時番組「BS エアロビック」の制作協力

- ・1998年にスタートしたNHKBS-2の定時番組「BS エアロビック」の制作協力を本年も継続して行った。

【出演者】 吉田知子・本間友暁・田中小夜子

【放送】 NHK BS-2 4月より月曜日～木曜日 午前9:50～10:00(10分番組)

定時番組「ドゥ!エアロビック」の制作協力

- ・2003年10月にスタートした全国各地の街や職場を紹介し、参加者と一緒にエアロビックを楽しむ公開収録によるNHKBS-2の定時番組「ドゥ!エアロビック」の制作協力を行った。

【放送】 毎週日曜日、NHK BS-2 午前6:30～6:54(24分番組)

【内容】 全国各地を訪問する公開収録形式

【出演者】 知念かおる他

### 2. JAF 会員誌『スマイル』の発行

- ・本連盟会員のための情報誌として1998年7月に創刊。本年も年4回発行した。

44号	4月1日発行	各5,000部発行
45号	7月1日発行	
46号	10月1日発行	
47号	1月1日発行	

## ・その他法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 都道府県連盟の加盟状況

- ・2009年度末の都道府県連盟の加盟数は、次の通りとなった。

【正加盟】 27都府県

【準加盟】 8県

【設立準備委員会】 5県 新潟、愛媛、大分、鹿児島、沖縄  
未組織は7府県(京都、奈良、和歌山、徳島、高知、島根、佐賀)

### 2. 賛助会員(法人・個人・サークル)の推進

- ・2009年度末の、法人賛助会員、個人賛助会員の実績は、次の通りとなった。

【法人賛助会員】 66社 (企業関係57、学校関係9)

【個人賛助会員】 1,789人

### 3. 選手登録の推進

- ・2009年度末の選手登録実績は、次の通りとなった。

【選手登録数】 2,965人

### 4. 競技登録クラブの推進

- ・2009年度末の「JAF 競技登録クラブ」の登録数は、次の通りとなった。

【競技登録クラブ】 41クラブ

以上